



秋播きハクサイや秋どりレタスの病害防除に 努めてください

ハクサイやレタス栽培では、9～10月にかけて台風の接近や前線の通過などによる曇天や降雨がありましたが、作物に大きな障害を生じることもなく経過しており、生育は順調と予想されます。

病害虫発生予報11月号(県病害虫防除所)によると、10月下旬現在、ハクサイべと病の発生は平年よりやや多い～多く、また、レタスでは、すそ枯病の発生が平年よりやや多い状況で、11月もこのまま推移すると予測しています。

ハクサイではこの時期、べと病の他に白斑病や黒斑病が発生しやすくなります。また、降雨が続くと軟腐病や黒斑細菌病などが発生しますので、収穫近くになっても病害の発生には十分注意し、予防や発生初期の防除に努めてください。

レタスではすそ枯病の他に菌核病や灰色かび病が発生しやすくなりますので、生育の遅い作型では今後とも予防や発生初期の防除に努めてください。また、腐敗病や軟腐病は収穫期近くになっても降雨が多くなると、急速に発病進展することがありますので、気象予報を考慮しながら薬剤の予防散布に努めて下さい。

【病害防除のポイント】

- 1 多湿な圃場環境は病害の発生を助長しますので、圃場排水対策など環境改善に努めてください。
- 2 薬剤散布にあたっては、株元や下葉、葉裏にも薬液が十分かかるよう丁寧に散布することが重要です。
- 3 防除薬剤は、下記を参考に収穫前日数に十分注意してください。

表1 ハクサイべと病、白斑病、黒斑病の主な防除薬剤 (令和4年11月9日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
ダコニール1000	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	M5
プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	40とM5
ストロビーフロアブル	3,000倍	収穫3日前まで / 3回以内	11
シグナムWDG	1,500～2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	7と11
アミスターオプティフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	11とM5

注) 各表の分類欄には、FRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 ハクサイ軟腐病、黒斑細菌病の主な防除薬剤 (令和4年11月9日現在)

薬剤名	軟腐病	黒斑細菌病	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
スターナ水和剤	○	○	1,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	31
ソータルWDG	○		1,000倍	収穫14日前まで / 3回以内	14と31
アグリマイシン-100	○	○	1,500～3,000倍	収穫14日前まで / 3回以内	25と41
バリダシン液剤5	○	○	500倍	収穫3日前まで / 3回以内	U18
Zボルドー	○	○	軟腐病 500～1,000倍 黒斑細菌病 500倍	- / -	M1

表3 レタス、非結球レタス すそ枯病、菌核病、灰色かび病の主な防除薬剤 (令和4年11月9日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
パレード20フロアブル	○	○	2,000～4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	○	すそ枯病は 2,000倍 菌核病・灰色かび病は 2,000～3,000倍	収穫3日前まで / 3回以内 収穫14日前まで / 3回以内	11
シグナムWDG	○	○	1,500倍	収穫7日前まで / 2回以内 収穫14日前まで / 2回以内	7と11

表4 レタス、非結球レタス 腐敗病、軟腐病の主な防除薬剤 (令和4年11月9日現在)

薬剤名	レタス	非結球レタス	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
カセット水和剤	○	○	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内 収穫14日前まで / 2回以内	24と31
スターナ水和剤	○	○	2,000倍	収穫7日前まで / 2回以内 収穫14日前まで / 2回以内	31
バリダシン液剤5	○	○	800倍	収穫前日まで / 3回以内 収穫3日前まで / 3回以内	U18

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農NEWSはJA全農いばらきホームページでもご覧になれます。